米国の歯学学位論文 (1)

Dental Theses and Dissertations in U. S. A. (1)

和田 佳代子*

日本歯科大学図書館

Wada, K. : Dental Theses and Dissertations in U. S. A. , *Igaku Toshokan* 33(2) : 124-149, 1986.

Doctoral dissertations are original results of studies presented to universities in fulfillment of doctoral degrees. They are thus papers of high quality. In America such dissertations are highly appreciated, whereas Japanese scholars and medical librarians have not yet recognized their value and utility. Nevertheless, doctoral candidates are under an obligation to publish their dissertations. Why are such academic materials not being paid attention to in Japan? In consideration of the above-mentioned fact, this paper reports on education in American dental universities, the American doctoral degree system in comparison with the Japanese one, and the methods of reference to dissertations. Furthermore, an analysis of American doctoral dissertations in dentistry belonging to the Nippon Dental University Library is presented together with research on the frequency of quotations from doctoral dissertations in major American dental journals, so as to determine the value of dissertations as a primary source.

I. はじめに

II. 米国における歯学教育制度

1. 歯学教育の歴史

2. 歯学教育制度

III. 大学院制度と歯学学位

1. D. D. S. と D. M. D.

2. M. S. と M. S. D.

3. Ph. D. とその他の学位

4. 日本の博士学位と Ph. D. との比較

IV. 歯学学位論文の検索方法

1. 学士論文検索方法

2. 修士論文検索方法

3. 博士論文検索方法

4. 大学毎の学位論文検索方法

5. オンラインによる学位論文検索方法

V**. 学位論文と雑誌論文の関係

1. 日本歯科大学図書館所蔵の米国博士論文と雑誌論文との関係

2. 歯学雑誌の参考文献にみる学位論文引用度

VI. 考察

一次資料としての学位論文の価値

VII. 結論

I. はじめに

学位論文は、学位を得るために大学等へ提出されるオリジナリティーの高い研究成果であり、質的に高度

な水準にある論文とされている。

しかし従来、日本の研究者や図書館員の間では、学位論文の利用や価値はあまり認識されていない。外国では研究資料としての価値が高く評価されている学位論文が、なぜ日本では注目されないでいるのか。また、日本の学位論文は公刊が義務づけられていて確認できるが、外国では学位論文を雑誌論文などで確認することができるのであろうか。

また、筆者の勤務する日本歯科大学図書館の相互貸

* Kayoko WADA : Nippon Dental University Library, 1-9-20, Fujimi, Chiyoda-ku, Tokyo 102, Japan.

** V章以下は、次号に掲載予定。

借業務においては、学位論文の海外申し込みが年間7～8件ある。海外への申し込みに際しては、間違った機関や大学に申し込まないために、相手国の学位制度や論文収集機関を正確に把握する必要がある。

以上を考察する目的で、米国歯科大学（歯学部）の教育・学位制度、日本の学位制度との比較、学位論文検索方法について報告する。また、歯学学位論文の一次資料としての価値を検討するため、日本歯科大学図書館所蔵の米国歯学博士論文の分析と、米国を中心とした歯学雑誌における学位論文引用頻度の調査を行ったので報告する。

II. 米国における歯学教育制度

1. 歯学教育の歴史

米国における歯学教育は、現在のメリーランド大学歯学部の前身である、ボルチモア歯科医学校（Baltimore College of Dental Surgery）の創立に始まる。その後、表1の如く続々と歯科医学校が設立され、現在60校である。

当初歯科医学校は、日本の歯科大学と同様に設立以来すべて私立の単科大学であり、1867年に設立されたHarvard School of Dental Medicineのみが総合大学の歯学部であった。その後、米国歯科医師会（American Dental Association、以下A. D. A.とする）の歯科教育審議会（Council on Dental Education）の指導により、歯科医学校は全て総合大学の一学部として合併され、現在は単科大学はない。なおエモリー大学が廃校予定である。

歯学部の呼称には、次のような種類がある。

School (College) of Dentistry, School of Oral (Dental) Surgery, School of Dental Medicineなどの名称が一般的であるが、中にはDental Branch（テキサス大学ヒューストン校歯学部）School of Graduate Dentistry（ボストン大学歯学部）と呼ばれているものもある。

2. 歯学教育制度

米国は一様に歯学部といっても、州毎にかなりの差がある。しかも教育の最高責任者が州であることから、A. D. A. 教育審議会の最低基準・指導はあるが、設

表1. アメリカの歯科大学の概要

大 学 名	創 立 年	設 置 者	教育期間	学 士	要 求 学 歴	基礎講座タイプ
メリーランド大学	1840	州 立	4－4	DDS	3	D
コロンビア大学	1852	私 州 立※	〃	〃	4	S
テンブル大学	1862	〃	〃	〃	3	D
ニューヨーク大学	1865	〃	4－3	〃	3	D
私立ワシントン大学	1866	私 立	4－4	DMD	3	D
ハーバード大学	1867	〃	〃	〃	3	S
ミシガン大学	1875	州 立	〃	DDS	2	S
ペンシルバニア大学	1878	私 立	〃	DMD	3	D
インディアナ大学	1879	州 立	〃	DDS	3	S
カリフォルニア大学 L. A.	1881	〃	〃	〃	3	S
ホワード大学	〃	私 立	〃	〃	2	S
ミズリー大カンサスシティー	〃	州 立	〃	〃		D
アイオワ大学	1882	〃	〃	〃	3	M
ロヨラ大学	1883	私 州 立	〃	〃	3	D
メハリー医科大学	1886	私 立	〃	〃	2	S
ルイズビル大学	1887	州 立	〃	DMD	2	S
ミネソタ大学	〃	〃	〃	DDS	3	S

ノースウエスタン大学	1891	私州立	"	"	2	S
ニューヨーク州立大バッファロー	1892	州立	"	"	3	M
ケースウエスタンリザーブ大	"	私州立	"	"	2	S
バージニアコモンウェルズ大学	1893	州立	"	"	2	I
ピッツバーグ大学	1896	私州立	"	DMD	3	D
パシフィック大学	"	私立	4-3	DDS	3	D
サウザンカリフォルニア大	1897	私立	4-4	"	4	D
ネブラスカ大学	1898	州立	"	"	2	D
イリノイ大学	"	"	"	"	2	S
タフト大学	1899	私立	4-3	DMD	3	S
ジョージタウン大学	1901	"	4-4	DDS	2	S
クレイグトン大学	1905	"	4-4	"	3	S②
ベイロー大学	"	"	"	"	120	D③
テキサス大学ヒューストン	"	州立	4-3	"	2	D
マーキュエット大学	1907	私州立	4-4	"	3	D
テネシー大学	1911	州立	"	"	3	I④
オハイオ州立大学	1914	"	4-3	"	3	S
デトロイト大学	1932	私州立	4-4	"	2	D
エモリー大学	1944	私立	"	"	3	S,
オレゴン大学	1945	州立	"	DMD	3	D
ワシントン大学	"	"	"	DDS	3	M⑤
アラバマ大学	1948	"	"	DMD	3	S
ノースカロライナ大	1949	"	"	DDS	3	S
ロマリンド大学	1953	私立	"	"	2	S
ニュージャージー歯科大学	1954	州立	"	DMD	2	S
フェアレイデッキンソン大学	1956	私州立	"	"	2	D
ウエストバージニア大	1957	州立	"	DDS	3	S
ブエルトリコ大学	"	"	"	DMD	2	I
カリフォルニア大ロスアンゼルス	1960	"	"	DDS	3	S
ケンタッキー大学	1962	"	"	DMD	U①	S'
南カロライナ医科大学	1967	"	"	"	3	S
ルイジアナ州立大学	1968	"	"	DDS	3	S
コネチカット大学	"	"	"	DMD	4	S
ジョージア医科大学	1969	"	"	"	2	D
南イリノイ大学	"	"	4-3	"	2	D
テキサス大学サンアントニオ	1970	"	4-4	DDS	2	S
フロリダ大学	1972	"	"	DMD	2	S
オクラホマ大学	"	"	"	DDS	2	S
ボストン大学	"	私立	"	DMD	4	M
ニューヨーク州立大ストニー	1973	州立	"	DDS	2	I
コロラド大学	"	"	"	"	3	M
ミシシッピ大学	1975	"	"	DMD	3	S
オーラルロバーツ大学	1979	私立	"	"	"	"

① Unspecified ② 医・歯学部が共同で基礎医学講座（52.5％） ③ 歯学部に基づ基礎医学講座が所属（32.2％） ④ Basic Science Division として独立（6.8％） ⑤ 歯学部に基づ基礎講座がなく医学部に依存（8.5％）〔出典〕：「アメリカの歯科大学と図書館の現状」

立基準も画一化されたものではなく、歯学部のカリキュラムも大学によってそれぞれ工夫されている。また医・歯学部は総合大学の中でもメディカルセンターを形成して、場所的にも機構的にも他学部には制約されない独立した運営を行っているのが通例である。

入学に関しても、米国の他学部、及び日本の医学歯学系と大部相違がある。米国の歯学部に入學するには、各大学が要求する所定の単位を2年以上修得した後、初めて入学資格ができる(図1)。しかし大学によっては、学士(bachelor)の学位を要求しているところもあり、歯学部入学時の学歴は、要求学歴とは別に4年以上の者が88.8%(1978年)となっている(表2)。現在では、米国留学経験を持つ当日本歯科大学教官によると、高等学校卒業後2～3年で歯学部に入學してくる者はほとんどなく、医学部同様、大多数が学士号を持っているか、卒業までに学士号を取得するという事である。そしてA. D. A. の後援のもとに行われる、全国共通歯科受験者試験(Dental Admission Test=American Dental Schools Application Service)の成績と書類選考により、入学が許可されているようである。

表1の教育機関の中で4-3と示すものは、1年間で9ヶ月授業であったものを12ヶ月授業とし、3年間で卒業させようというものである。これは、歯科医師

の短期養成、大学施設のフル活用、学生の授業料軽減などの利点があげられる。しかし現在では、カリキュラムの失敗、教員の負担増、開業医試験の不合格者の増加などから、敬遠され6校に減少している。

通常4年間の歯学専門教育が行われるが、日本と違い、歯科に直接関係しない一般的な基礎医学を、医学部の先生に兼任させている大学も多い。歯学部の85%は、独自または医学部と共同で基礎医学講座を持っており、残りの15%は他の学部にて行っている(表1の基礎講座タイプ参照)。

歯学専門教育を経て所定の単位を得た後、卒業となる。この時点で歯科医師免許試験があり、合格すると各州の発行する歯科医師免許を取得できる。専門職業に従事するための資格を示す学位 Doctor of Dental Surgery (以下 D. D. S. とする) と Doctor of Dental Medicine (以下 D. M. D. とする) の称号が得られるのである。

III. 大学院制度と歯学学位

1. D. D. S. と D. M. D.

これは歯科医師として必要な歯学専門教育課程を終了後に授与される、専門学位(professional degree)である。この二つは、むりに訳せば、歯科外科博士

国名	入学前	学位取得までの最低必要年数												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
日 (歯・本 医)	高 (12等 年学 校)	一般教養 (進学課程)	専門教育課程					①学士						
米 国 (歯)	高 (12等 年学 校)	Bachelor of Science (2-4 Years)	専門教育課程					③ D. M. D., D. D. S.						
米 国 (医)	高 (12等 年学 校)	Bachelor of Science (4 Years)	専門教育課程					⑥ M. D.						

- 1. 医・歯 (学士)
- 2. 医・歯学博士
- 3. Doct. of Med. Dent.
Doct. of Dent. Surg.
- 4. Mast. of Sci.
- 5. Ph.D. & other Doct.
- 6. Doct. of Med.
- 7. Mast. of Sci. (未確認)
- 8. Ph.D. & other Doct.

図1. 学位取得までの最低必要年数

(D. D. S.), 歯科内科博士 (D. M. D.) と訳せるが、日本における歯学部卒業生に与えられる歯学学士に近いものであり、医学部でいう Doctor of Medicine (以下 M. D. とする) に相当する。

歯学部入学者の大部分が学士 (bachelor) の学位を持つ歯学部にとっては、教育そのものは人文・社会・理工学部の大学院レベルに相当し、D. D. S., D. M. D. の学位は M. D. と同様、専門的な能力の象徴として古くから高い尊敬を受けている。しかし、これら専門の職業教育を行う医・歯学部で授与される学位は、連邦教育局の統計ではその名称のいかんを問わず、最初の専門学位 (first professional degree) として、統計上は学士号の中に入れて計算されている。

表3で示す如く、歯科大学・研究機関等職員の内、D. D. S., D. M. D. を最高学歴とする者は81%と高い数値である。

2. M. S. (Master of Science) と M. S. D. (Master of Science in Dentistry)

歯学領域の大学院とは、通常この修士課程からのものを指す。次節3で述べる博士課程が主に基礎研究を主とするのに対し、修士課程はその教育目的も、職業的な歯学の臨床専門医の養成を目的としている。通常2年以上の在学中に、必修単位の習得、臨床実習、研

究レポートの提出などを行い、これを終了すると修士課程の終了証書が授与される。なおその間、論文作成に関する講義を受講した後、学位論文研究委員会に論文を提出し、審査に合格すると、初めて Master of Science (以下 M. S. とする)、あるいは Master of Science in Dentistry (以下 M. S. D. とする) の学位を取得できる訳である。

つまり、日本の文学部などに見られるように、博士課程を卒業しても、即文学博士を得られないのと同様に、修士課程、また次に述べる博士課程の修了者全てが、M. S., M. S. D. など取得できるとは限らないようである。

M. S. と M. S. D. の違いは、授与大学の歯学部の専門施設、教授陣の充実度によって Dentistry の付くものと付かないものがあるといわれている。そして、より臨床に即した歯学専門分野に重点の置かれた研究内容には Dentistry が付き、基礎研究 (口腔解剖や口腔病理など) に重点が置かれたものが Master of Science となるようである。歯学雑誌論文の引用文献中、学位論文 (theses) と表示のあるものは、この修士論文を指す。

本来 thesis が修士論文を指し、dissertation が博士論文を指すのであるが、しばし混乱が見られ、引用

表2. 歯学部入学時の学歴の推移

Year	2 Years	%	3 Years	%	4 Years	%	Baccalaureate	%	Master's	%
1965 - 66	565	15.0	1,106	27.0	212	5.0	1,983	52.0	30	1.0
1966 - 67	477	12.0	1,033	26.0	342	9.0	2,038	52.0	62	1.0
1967 - 68	450	11.0	1,100	26.0	311	7.0	2,289	55.0	50	1.0
1968 - 69	296	7.1	1,092	26.4	262	6.3	2,436	58.8	56	1.4
1969 - 70	261	6.0	847	19.4	356	8.2	2,823	64.8	68	1.8
1970 - 71	276	6.0	860	18.8	295	6.5	3,055	66.9	79	1.8
1971 - 72	197	4.2	923	19.5	306	6.4	3,176	66.9	143	3.0
1972 - 73	169	3.2	964	18.1	358	6.7	3,614	67.7	232	4.3
1973 - 74	184	3.4	981	18.0	368	6.8	3,651	67.0	261	4.8
1974 - 75	59	1.1	875	15.6	404	7.2	3,961	70.5	303	5.4
1975 - 76	58	1.0	719	12.5	328	5.7	4,335	75.2	323	5.6
1977 - 78	50	0.8	620	10.4	434	7.3	4,534	76.2	316	5.3

文献中、特にインターナショナルな雑誌では、両者とも theses という表示になっている事が多いようである。表3で示す如く、M. S., M. S. D.を最高学歴とする者は、2.3%と非常に少ない。

なお別表2（本文末）による質問を行った結果、Univ. North Carolina at Chapel Hill Health Science Lib. から歯学高等教育（大学院）の修業年数などの回答を得た。主に修士課程に関するものである。結果を別表3（本文末）に示す。

3. Ph.D. (Doctor of Philosophy)とその他の学位

1) Ph.D. (Doctor of Philosophy)

Ph. D. は、理科系・文科系などの分野、目的を問わず基礎研究に対して与えられるもので、幅広い高度の学識を持つ研究者の資格を証明する、最高のシンボルとして尊敬され、権威のある学位となっている。

博士課程への入学は、必ずしも修士号の取得を前提とはせず、学士号を取得していれば許可されるが、歯学などの場合は、修士課程を終了した後博士課程へと進む人が多いようである（図2）。

Ph. D. と専門学位 (D. D. S., D. M. D., M. D.) との違いは、専門学位が歯科医師として必要な一連の教育を良い成績で履修した後に授与される、一種の専門職業資格を示す絶対的な必要条件であるのに対して、医・歯学領域における Ph. D. は研究を通して医学的知識の向上が認められた場合に授与されるもので、それ自体職業的なライセンスの性格を持たない。D. D. S.などの専門学位 (professional degree) に対して

Ph. D. などを研究学位 (academic degree) という。

最近では、医・歯学領域における Ph. D. の教育課程が、特殊な専門分野・訓練（臨床実習）にますます力を入れるようになってきている。Ph.D. は、研究者または学者としての資格を象徴し、また教育職（大学教授）となるための必要資格として、幅広い学識と叡智を要求される学位である。この学位論文が dissertation と呼ばれるものである。

Ph. D. の取得には、学士号取得後最低3カ年の履修、二つの外国語履修、論文審査などの最低必要条件はあるが、Ph. D. はほとんど全ての分野で授与されるため、履修課程や教育内容、また取得までの年数も各分野毎にまちまちであり、特に医・歯学系の Ph.D. 取得には、実際にはかなりの長い時間を必要とする。

2) その他の学位

歯学部及びその付属医療センターの、研究・教育・臨床に従事する者の中には、公衆衛生学、看護学、理工学、心理学などの分野のスタッフが一員として含まれている（表4）。この人達が歯学領域に関する論文で学位を取得した場合、あるいは歯科医師でも教育や公衆衛生に重点を置いた研究の場合、Doct. of Public Health, Doct. of Education, Doct. of Nursing, Doct. of Science などとなるのである（図3）。

4. 日本の歯学博士との比較

日本においては、医・歯学領域に Master や Ph. D. に匹敵する学位制度がないことと、Ph. D. などに対する理解不足のため、医・歯学博士を持つ人が外国

表3. 米国歯科大学、研究機関勤務者の最高学歴

(Faculty by Highest Earned Degree)	
DDS or DMD	8,428 (81%)
Foreign Dental Degree	226
MD	216
PhD or Other Doctorate	1,088 (10%)
MA or MS	242 (2.3%)
BA or BS	228

(From) Directory of Dental Educators 1977-78. Amer. Assoc. Dental Schools

図2. 米国の高等教育制度

[I.D.L.]

DISSERTATIONS AND THESES 1963, 1964

LADD, Eleanor Mary, 1919-
A COMPARISON OF TWO TYPES OF TRAINING
WITH REFERENCE TO DEVELOPING SKILL IN
DIAGNOSTIC ORAL READING TESTING.

The Florida State University, Ed.D., 1961
Education, teacher training

71-11,694

DUANY, Jr., Luis Felipe, 1919-
PREVALENCE OF POTENTIALLY CARIOGENIC STREP-
TOCOCCI, DIET, DENTAL PLAQUE AND ORAL HYGIENE
IN CARIES-FREE AND CARIES-ACTIVE STUDENTS.

University of North Carolina at Chapel Hill,
Dr.P.H., 1970
Health Sciences, public health

図3. 歯学博士論文の内 Ph. D. 以外のもの

JAPAN

KYOTO. UNIVERSITY, DEPARTMENT OF STOMATOLOGY.
Sakyoku, Kyoto, Japan
Sakinaka, Tadayuki. Studies on the influence of fluoride
upon the liver function of rabbit. D. M. S. 1963.
NIPPON DENTAL COLLEGE. 1-3, Fujimicho, Chiyodaku
Tokyo, Japan
Hayakawa, Hiroshi. The relation between the quality of water
and the tooth caries of the infants. D. D. S. 1964. 11p.
Mihashi, Haruhiko. Studies on Actinomyces isolated from
actinomycosis. D. D. S. 1964. 34p.
Mochizuki, Juji. Studies on the iodic acid reactive substan-
ces in saliva. D. D. S. 1964. 18p.
◎ Nakahara, Sou. Oligodynamie auf Bakterien in der Mund-
höhle. D. D. S. 1964. 27p.
Sugimura, Hideo. Embryological and experimental studies
on the elastic fibers in the supporting apparatus of the
mandibular teeth of mouse. D. D. S. 1964.

図4. I. D. L. に掲載された日本歯科大学博士論文
(甲第1号：中原爽)

の雑誌に論文投稿する際、独自の判断で Ph. D. や、M. D. または D. D. S. などをつけている傾向がある。例えば、教授の肩書きを Ph. D. と解釈していると思われる人、大学院課程博士を Master of Dental Surgery, Doct. of Dental Science と解釈したり、医学・歯学博士を Ph. D. と解釈している人、単純に医学博士を M. D., 歯学博士を D. D. S. と解釈している人、全く意味の不明な学位の付け方をしている人などさまざまである。

また日本の研究者の間でも、Ph. D. の解釈はさまざまであり、池田¹⁾は「医科以外の出身者で一定の期間基礎医学教室に在籍し、研究論文を作成し提出して医学(歯学)博士の学位を得た人が Ph.D. の category に入る」と述べており、高橋²⁾は「M. D. とは国家試験によって臨床診断を行うことが許可された医師その

ものであり、Ph. D. とは医学部外出身者の総称であり、厳密な意味での学位取得者ではない」と述べているが、米国の Ph. D. の概念は、前述 1) で述べた如くかなりニュアンスの違うものである。

表 5 は、当日本歯科大学図書館に所蔵する図書と雑誌から、米国人著者の学位を拾い出したものである。

さらに表 3 (最高学歴による分類) の中で、D. D. S., D. M. D. を取得している上でさらに Ph. D. を取得している者は 426 人いる。1,088 人の数値はその他の学位を含んだものであることを考慮すれば、この内半数に近い者が歯科医師である上に Ph. D. を取得していることが分る。つまり、医・歯学部出身者以外の Ph. D. 所有者は、米国では 6 % 程度である。(ちなみに日本は 40 % である¹⁾) Ph.D. を、医・歯学部出身者以外の研究者の総称と解釈することは、少し無理があ

表 4. 歯科専門家以外のスタッフ

(Primary Discipline of Dental Faculty by Type of Institution)				
	U.S. Dental Schools	Canadian Dental Schools	Advanced Dental Education Institutions	Total
<i>Physical Disciplines</i>				
Anatomy (General)	324	11	—	335
Biochemistry	257	12	12	281
Biomaterials	132	17	6	155
Histology	106	3	1	110
Microbiology	317	14	5	336
Neuroscience	35	2	—	37
Pathology (General)	350	22	1	373
Pharmacology	260	16	5	281
Physiology	320	19	—	339
<i>Preclinical and Clinical Disciplines</i>				
(Dental)	66	15	3	84
中 略				
Statistics TEAM		3		
◎ <i>Auxiliary Disciplines</i>				
Dental Assisting	35	—	—	35
Dental Hygiene	465	20	24	509
Dental Technology	16	—	—	16
◎ <i>Other Disciplines</i>				
Administration	32	1	1	34
Education	5	—	—	5
Other	57	—	4	61
Discipline Not Reported	33	8	—	41
Total	13,044	1,005	188	14,237

From: Directory of Dental Educators, 1982-83
ed. by American Association of Dental School.

るようである。

日本の歯学博士は、修業年数のみから考えれば、米国の修士に相当し、また学士修得後の大学院課程から考えれば Ph.D.などに相当する。しかし実際のニュアンスは前者に近いようである。

なお、国際歯科学士会日本部会では称号について、歯科医師は D.D.S., 医師は M.D., 歯学博士は D.D.Sc., 医学博士は D.M.Sc.と記入するように指示している。

日本では、学位の授与数は医学・歯学系が全体の50～89%を占めている³⁾の に比べ、米国では医学系は全体の10%前後⁴⁾である。

IV. 歯学学位論文の検索方法

以下に学位論文の収集機関、及び検索ツールを述べる。これらは米国を中心とした英語圏の二次資料に限定し、欧州、その他の言語圏の検索ツールは除いた。

1. 学士論文検索法 (D.D.S., D.M.D., M.D.)

現在、D.D.S., D.M.D., M.D.などの専門学位 (professional degree) は検索のツールがない。なお Kowitz, A.⁵⁾によれば、学士の段階では研究レポート的な小論文は書くことはあっても、いわゆる学士論文に相当するものは書かないとのことである。

2. 修士論文検索法 (M.S., M.S.D.)

a) Index to Dental Literature. Chicago, American Dental Association. Dissertations & Theses : 1964— Time lag : 0—3 years
A.D.A. では1964年より、世界各国 (1982年 : 20

カ国) から歯学領域の学位論文の収集を行い Index to Dental Literature (以下 I. D. L. とする) に掲載している。A. D. A. で収集される米国の学位論文は、約9割が修士論文 (master theses) で、その他歯学領域の Ph. D. などの学位論文も収集されている (表6)。I. D. L. の1975年から1984年までの10年間をみると、米国は48大学の学位論文が掲載されており、歯学部を持つ全60大学からの収集ではないことが分かる。これらの収集の不徹底は、各国・各大学から自主的に送付された論文の収集による事情で、そのためタイムラグも各大学毎にまちまちである。ともあれ、I. D. L. は米国の歯学修士論文を網羅的に検索できる唯一の二次資料である。

但し米国以外の国は大部分が博士論文である。ちなみに、当日本歯科大学の博士論文も、甲第1号 : 中原爽、以来現在に至るまで、I. D. L. に掲載されている (図4)。

I. D. L. には、学位論文が雑誌論文とは別項目で独立して検索できるようになっている。著者名の ABC 順索引、国別の ABC 順リスト (国の中は大学名の ABC 順)、I. D. L. 件名索引の3点から検索できる。但し抄録は付かない (図5)。

b) Master's Abstracts. Ann Arbor, Xerox University Microfilms. 1962— (Quarterly)

Time lag : 0—3 years

後述3節の Xerox University Microfilms (以下 U. M. 社とする) の収集に基づき、米国の修士論文の中から選択掲載している抄録誌である。論文収録件数が少なく、特に歯学領域は米国以外の国の修士論文

表5. 図書・雑誌における著者の学位 (米国)

「医学」	「混合・その他」
M. D. , M.	D. D. S. , M. D.
M. D. , Ph D.	D. D. S. , M. D. , M.
M. D. , Ph D. , M	M.
「歯学」	Ph D. , M.
D. D. S. (D. M. D.) , M.	
D. D. S. (D. M. D.) , Ph D.	
D. D. S. (D. M. D.) , Ph D. , M.

図 5. 米国歯学修士論文と I. D. L. の掲載

が多く、米国の歯学修士 (M. S., M. S. D.) を検索するには、不向きなツールである。

3. 博士論文検索法 (Ph. D. とその他の学位)

- a) Dissertation Abstracts International ;
Sect. B (Science & Engineering) Ann Arbor,
Xerox University Microfilms. 1938—

Time lag : 0—3 years

博士論文は、一般に公刊・頒布されないため情報入手困難で、その研究が比較的知られない事が多かった。学位論文の重要性を認識した米国では、1938年に The Association of Research Library (研究図書館協会) の援助のもとに Xerox University Microfilms (U. M. 社) が博士論文の収集・複製・頒布・抄録誌の編纂業務に着手した。

原論文の複製・頒布に関しては著作権の関係で大きな困難を伴ったが、現在では学位を与えた大学や研究機関は、博士論文の複製あるいはリストを U. M. 社に寄託し、U. M. 社では博士論文の microfiche あるいは microfilm 化とその蓄積を行っている (1983年11月現在、約80万件)。U. M. 社には米国の博士論文の99%が収集されているが、専門学位 (professional degree=D. D. S., D. M. D., M. D.) は収集されていない。この U. M. 社の収集をもとに作成された抄録誌が Dissertation Abstracts International (以下 D. A. I. とする) である。

なお歯学部を持つ60大学の内、School of Dent. Univ. of Puerto Rico と School of Dent. Oral Roberts Univ. の2校を除く58校が D. A. I. の収録対象大学となっている。また、School of Dent. Univ. of the Pacific と Baltimore College of Dental Surgery, Dental School, Univ. of Maryland の2校からは、D. D. S., D. M. D. の学位のみ授与との回答を得た。⁶⁾

歯学領域は、Ph. D. を中心に Doct. of Education, Doct. of Public Health などの博士論文 (academic degree) が掲載されている。

D. A. I. 本体は分類順配列で、歯学は主に Health Sciences の Dentistry の項目に載る (図6)。各号と年間索引に、Author Index と Keyword Title In-

dex (Subject) が付き Keyword Title Index を利用すると Dentistry の分類項目以外にも、歯学に関係ある博士論文を検索することが可能である (図7)。

抄録の付与されている率が年々多くなり、1970年以後は全て付く (表7)。タイムラグに関する調査 (表8) をみても、学位取得年から2~3年後まで検索する必要がある。また使用に当っては、D. A. I. の序文中にある採録大学名および採録開始年を確認の上、調査する必要がある。

- b) American Doctoral Dissertations. Compiled for the Association of Research Libraries. 1956/57—Ann Arbor, Xerox Univ. Microfilms. [1933—1955/56: Doctoral Dissertations. accepted by American Univ. New York, Wilson.] (annual)

Time lag : 1 year

TABLE OF CONTENTS BY SUBJECT

GEOPHYSICS	238
GEOTECHNOLOGY	239
GERONTOLOGY	240
HEALTH SCIENCES	
General	240
Audiology	240
Chemotherapy	241
◎ Dentistry	241
Education	241
Hospital Management	242
Human Development	242
Immunology	242
Medicine and Surgery	245
Mental Health	245
Nursing	246
Nutrition	249
Occupational Therapy	250
Pathology	250
Pharmacy	252
Public Health	252
Radiology	254
Recreation	254
Speech Pathology	254
HISTORY	
General	255

図6. D. A. I. 分類目次

表 6 . I . D . L . に掲載された米国歯学学位論文の種類

I . D . L . 掲 載 年	M . S or M . S . D .	Ph . D .	Mast . of Dent . Surg .	そ の 他	計
1 9 8 0	207 (88.5 %)	5 (2 %)	0	① 22 (9.5 %)	234
1 9 8 4	238 (93 %)	10 (3.9 %)	6 (2.3 %)	② 3 (0.8 %)	257

- ① この内、1 篇は Mast . Sci . in Dental Hygiene である。
他の 21 篇は全て Harvard Univ . の論文であるが、学位の表示がない。I . D . L . 1977-1984 を調べると、1977 は Doc . Med . Sci ., 1978 は Doct . Med . Sci . Oral Biol . 1981 は D . M . D . , M . S . , Ph . D の表示があった。1979 , と 1982-1984 は論文の掲載なし。
- ② この内訳は D . D . S . , D . Sc . D , Mast . Health Professions Education . の 3 種類である。

図 7 . 分類項目・Dentistry 以外に掲載された歯学博士論文

前記の資料は、1933年から Wilson 社で刊行されていたものを1957年に U. M. 社が引きつぎ、D. A. I. の別冊付録として出されているものである。米国とカナダの全大学で、その一年間に授与された博士論文の

論題を掲載したものであり、前述 D. A. I. に未収録の大学も載るため、D. A. I. を補うツールである。

分類項目、索引とも D. A. I. と同じ方式である。

またこれには、大学毎に発行されている学位論文の抄

表7. アブストラクト付与率

American Doctoral Dissertations Abstracted in Microfilm Abstracts
and Dissertation Abstracts (1934-1969)*

Years	Total No.	Abstracted	% Abstracted	
1934-1939	172	9	5.2 %	Microfilm Abstracts
1940-1945	121	4	3.3 %	Microfilm Abstracts
1946-1951	216	27	12.5 %	Microfilm Abstracts
1952-1957	603	258	42.8 %	Dissertation Abst.
1958-1963	731	463	63.3 %	Dissertation Abst.
1964-1969	1,169	904	77.3 %	Dissertation Abst.
1970-1983	約 797,000		100.0 %	Dissertation Abst.
Totals	約 800,000			Dissertation Abst. Int.

* Although Microfilm Abstracts was first published in 1938,
it included dissertation titles back to 1934.

表8. タイムラグ

Time Lag Between the Date of the
Dissertation Issuance and Its Listing in
Dissertation Abstracts or Publication
(1934-1969)

Sample = 3,102

Time Lag (Years)	Listing in Diss. Abstr.	% Listed in Diss. Abstr.	Printed Version *	% Printed
Some	824	27.4 %	174	5.8 %
1	780	26.0 %	186	6.2 %
2	147	4.9 %	128	4.3 %
3	9	3 %	39	1.3 %
4 +	12	4 %	33	1.1 %
Totals	1,772	59.0 %	560	18.7 %

* Printed version refers to an impression offset rather than limited distribution to a few, pre-determined faculty members.

録誌名や、学位論文複写依頼方法のリストなども付与されている。(後述4節, 表9, 10を参照)

c) Comprehensive Dissertation Index, 1861—
1972. Ann Arbor, Xerox Univ. Microfilms.
32 vols. (annual supplement 1973—)

米国・カナダの大学で授与された学位論文の1号(1861年)から1972年までの112年間の全論文を検索できる索引誌である。21部門に分かれ, その中は件名のABC順配列で, 別に5巻の著者名索引がある。D. A. I. および A. D. D. に掲載されていない学位論文も全て検索でき, また件名により, 全学位論文の検索が112年にわたり網羅的に検索できる有用なツールで

ある。

d) その他

歯学の特徴としては, 理工学との関連が深いという点である。歯科材料としての金属や陶材, 鑄造学や無機化学, そして接着や応用力学など, 化学や物理工学領域の文献提供が, 歯学の特徴である。その場合は Chemical Abstracts を利用することができる。

Chemical Abstracts に掲載されている学位論文は, D. A. I. から書誌目録引用を通して扱われ, Referativnyi Zhurnal のようなその他の二次資料から選択された資料が若干加えられ, D. A. I. と類似の形式で記述される(図8)。

表9. 米国大学発行の学位論文抄録誌名

SERIAL PUBLICATIONS LISTING OR ABSTRACTING DISSERTATIONS

Air Force Institute of Technology	Air University Abstracts of Research Reports (Air University Library, MAFB, Ala.) Dissertations first listed in v. 13, 1969. (annual).
University of Arkansas	Abstracts of Dissertations. v. 1, 1953-1958. (quinquennial).
Bowling Green State University	Abstracts of Theses and Dissertations. v. 1, 1935. (annual).
Brigham Young University	Abstracts of Dissertations and Theses. v. 1, 1956. (annual).
University of Chicago	Register Number. Doctors of Philosophy. June 1893-April 1931. <i>Announcements</i> , v. 31, no. 19. Chicago, Illinois, University of Chicago Press, 1931.
University of Chicago	Abstracts of Theses, Humanistic Series, 1922-1932//
Clark University	Abstracts of Dissertations and Theses (Clark University Bulletin), 1929-1952//
Clark University	Dissertations and Theses (Clark University Bulletin). v. 1, 1953. (annual).
Clemson University	Abstracts of Doctoral Dissertations and Masters' Theses. v. 1, 1954. (2 to 3 yr. intervals). Ceased publication in 1970
Colorado School of Mines	Research in Engineering and Science. v. 1, 1957-1959, Title Cumulation only; 1960 with abstracts. (annual).
Columbia University	Masters Essays and Doctoral Dissertations. v. 1, 1959-1960. (annual).
Columbia University	List of Theses Submitted by Candidates for the Degree of Doctor of Philosophy in Columbia University, 1872-1910. <i>Bulletin of Information</i> , 10th series, no. 26, 1910.
East Texas State University	Abstracts from Graduate Study. v. 1, 1964. (annual).
Fordham University	Dissertations accepted for Higher Degrees in the Graduate School of Arts and Sciences. v. 1, 1934. (annual).
Fordham University	Dissertations Accepted for Higher Degrees in the Graduate School of Arts and Sciences, 1933-1945//
The General Theological Seminary	The Bulletin of The General Theological Seminary. v. 1, 1914.
.....	
.....	
.....	
.....	

Chemical Abstracts 以外で医学, 理工学分野の二次資料中, 学位論文を収録している資料は以下のような物がある。

- * Bibliography of PLASMIN 1962-(プラスミン)
- * Psychopharmacology Abstracts 1961-(薬物心理学)
- * Psychological Abstracts 1927-(心理学と関連医学)
- * Tropical Diseases Bulletin 1912-(熱帯医学)
- * Physics Abstracts (Science Abst. Ser. A) 1898-(物理学)
- * Physics Briefs/Physikalische Berichte 1979-(物理学)
- * Science Research Abstracts Journal 1981-(物理学)
- * Metals Abstracts 1968-(金属工学)
- * Alloys Index 1974-(合金)
- * Genetics Abstracts 1968-(遺伝学)

理工学分野における米国の学位論文二次資料に関しては, その書誌名のみを記載する。

- * Dissertation in Physics : an indexed bibliography of all doctoral Theses. Accepted by American Universities, 1861-1959.
M. Lois Marckworth. Stanford, Stanford Univ. Press, 1961.(物理)

- * Directory of Graduate Research. 1953-
Washington, American Chemical Society.
(biannual) (化学・生化学)

4. 大学毎の歯学学位論文検索法

米国の大学では, 自校の学位論文を少なくとも1部は, 大学図書館に寄託することになっている。(本文末 別表1の Copies Supplied Library 参照) また, 別表2の質問によって, 学位論文の保管場所を確認したところ, 学位授与大学の図書館のみならず, 研究室(担当教授室)にも一部の大学では保管されている事が分った。

学位を授与した大学毎に, 著者名, 論題のリスト, または抄録誌を刊行している大学もある。A. D. D. の序文中にある Publication Preservation & Lending of Amer. Doct. Dissertation は抄録誌の有無をはじめ, 学位論文の保存形態 (print か microfilm の別) 図書館所蔵の有無, 複写依頼時の貸出し方法などが記載されている。また, 同序文中の List of Current Univ. Serial Publications Abstracting Dissertation は各大学で発行された抄録誌名が確認できる (表9)。

修士論文に関しては, Guide to Lists of Master's Theses. Dorothy M. Black, Chicago. A.L.A. により, 各大学でどのような修士論文リストが刊行されているか分かる。

図8. Chemical Abstracts の学位論文抄録の見出し語

《学位論文整理方法》

米国の大学図書館では、学位論文の収集・整理をどのように行っているのか興味を持ち、米国の歯学部図書館60館に、分類項目や整理方法について問い合わせたが、満足のいく回答を得られなかった(別表2～5)。参考までに回答のあった7例を示す。

- ① WU7(National Library of Medicine Classification)を使用…… Louisiana State Univ. Medical Cent. Library
- ② Black Dental Classification を使用…… Univ. of Texas Health Science Center at Houston, Dental Branch Library
- ③ 著者の ABC 順……Indiana Univ. School of Dentistry Library
- ④ N. L. M. の subject field に分類……Northwestern Univ. Dental School Library
- ⑤ Classified W4 with MeSH terms……Univ. of North Carolina at Chapel Hill Health Sciences Library
- ⑥ L. C. 分類を使用……Univ. of Southern California Dental Library
- ⑦ Subject of the dissertation ……Univ. of Texas Health Science Center at San An-

tonio. Dental Library

《学位論文入手方法》

入手方法に関しては、『医学図書館』31(4) Q&A を参照の事。

表10. 日本歯科大学所蔵の米国歯学博士論文種類

学 位 種 類	論文数	割 合
Ph. D.	301	86.2%
D. Education	22	6.3%
D. Public health	14	4.0%
D. Science in Hygiene	2	0.6%
Master of Arts	5	1.4%
Master of Sci.	1	0.9%
D. Arts	1	
D. Health and Safety	1	
不 明	2	0.6%
合 計	349	100%

図9. 主な学位論文検索ツールと採録年代

5. オンラインによる学位論文検索法

オンラインによって検索できる学位論文を、オンラインファイル毎にまとめた。

a) MEDLINE により検索できる学位論文

○ I. D. L. に掲載の学位論文

b) Dialog Online 情報検索サービス File 35 (Dissertation Abstracts) により検索できる学位論文

○ Dissertation Abstracts International

○ American Doctoral Dissertations

○ Comprehensive Dissertation Index

○ Masters Abstracts

以上に掲載の学位論文

収録年: 1861～現在

更新頻度: 毎月 (月間3,500件)

蓄積量: 1983年11月時点で80万件

抄録: 1980年7月以後の博士論文

c) C. A. Search により検索できる学位論文

○ Chemical Abstracts に掲載の学位論文

収録年: 1967～

検索ツールの主なものを図9にまとめた。

(次号に続く)

注・引用文献

- 1) 池田章: M. D. vs Ph. D. 医学教育, 7(4): 228-229, 1976.
- 2) 高橋隆: M. D. vs Ph. D. - 医師でなければならぬか. 医学教育, 7(4): 230-232, 1976.
- 3) 寺村由比子: 学位論文の意義と利用. 薬学図書館, 19(3/4): 109-122, 1974.
- 4) 寺村由比子: 外国博士論文. 科学技術文献サービス, No.29: 20-26, 1970.
- 5) 第5回国際医学図書館会議 口頭伝達
- 6) 別表2の質問による回答
- 7) 学教育. 東京, 医歯薬出版, 1981.
- 2) 森巨: M. D. vs Ph. D. 医学教育, 7(4): 233-235, 1976.
- 3) 夏見守雄, 伊藤博子: 博士論文. 科学技術文献サービス, No.67: 27-31, 1984.
- 4) 沢田徹: 主要国の高等教育. 東京, 第一法規出版, 1969.
- 5) 総山孝雄: 世界各国の歯科教育. 歯学教育, 4(2): 87-91, 1973.
- 6) 高瀬由比子: チュービンゲン大学医学博士論文を整理して. 第12回医学図書館員セミナー予稿集, pp.33-34, 1985.
- 7) 占部道敏: アメリカの大学に学んで. 大学資料, No.30: 21-32, 1969.
- 8) 若菜照彦: 主要国における大学院制度について. 大学資料, No.30: 33-39, 1969.
- 9) E. ウォルターズ編: これからの大学院. 東京, 東京大学出版会, 1969.
- 10) 薬学図書館編集部: 学位論文の意義と利用. 薬学図書館, 19(2): 88-92, 1974.
- 11) Ash, Joan: The exchange of academic dissertations. College and Research Libraries, 30: 237-241, 1969.
- 12) Availability of Theses. The Library Association Record, 60: 13-15, 1958.
- 13) Bishop, David: Science theses control in Europe and America. American Documentation, 10: 51-58, 1959.
- 14) Orgren, Carl E.: Index to Dissertation Abstracts. College and Research Libraries, 25: 279-280, 1964.
- 15) Poyer, Robert K.: Journal article overlap among Index Medicus, Science Citation Index, Biological Abstracts, and Chemical Abstracts. Bull. Med. Libr. Assoc., 72(4): 353-357, 1984.
- 16) Raisig, M. & Kilgour, F. G.: The use of medical theses; as demonstrated by journal citations, 1850-1960. College and Research

参 考 文 献

- 1) A.D.A. 編 (高浜靖英, 清水賢二訳): 米国歯

- Libraries, 25 : 93-102, 1964.
- 17) Tate, V. D. : Defrosting a frozen asset ; the publication of doctoral dissertation. College and Research Libraries, 14 : 35-38, 45, 1953.

- 18) Tate, V. D. : Theses-a solution. Library Journal, 79 : 1277-1279, 1954.
- 19) Vickers, Stephen : Sources of access to theses. Interlending and Document Supply, 11 (4) : 140-144, 1983.

*

*

*

別 表

別表 1. 米国学位論文の相互貸借資料 (医学部・歯学部)

University	Printing Required	Accepts Micro- filming	Abstracts Published S—School Pub. D—DAI Pub.	Copies Supplied Library	Lends Copies	Lends/Sells M (Microform) X (Xerography) T (Typescript) P (Printed) F/O (Microfiche sold in Canada)
The University of Alabama in Birmingham (Medical Center).....	Yes	Yes	D	1	Yes	T&P
Albany Medical College of Union University.....	Yes	Yes	D&S	3	Yes	T
The University of Arizona.....	No	Yes	D	2	No	
University of Arkansas for Medical Sciences.....	No	Yes	D	1	No	
Baylor College of Dentistry.....	See Baylor University		D			
Baylor College of Medicine.....	QNR *1		D			
Baylor University.....	No	Yes	D	1	Yes	T
Boston University						
—Graduate.....	No	Yes	D	2	No	
—Nursing.....	No	Yes	D	2	No	
The Bowman Gray School of Medicine.....	See Wake Forest University. The Bowman Gray School of Medicine					
Brown University.....	No	Yes	D	2	Yes	T
University of California. Davis.....	No	Yes	D	1	No	
University of California. Irvine.....	No	Yes	D	2	Yes	T (California only)
University of California. Los Angeles.	No	Yes	D	2	Yes	T or M
University of California. San Diego..	No	Yes	D	2	Yes	X
University of California. San Francisco.....	No	Yes	D	1	No	
California School of Professional Psychology						
—Los Angeles.....	No	Yes	D	2	Yes	X (to other CSPP schools only)

Case Western Reserve University						
(Health Sciences)	No	Yes	D	2	No	
The University of Chicago.....	No	Yes	D	1	Yes	M & X
University of Cincinnati.....	No	Yes	D	2	No	
University of Colorado at Boulder...	No	Yes	D	1	Yes	X(pre- 1955 only)
University of Colorado Health						
Sciences Center.....	See University of		D			
	Colorado at Boulder					
Columbia University.....	No	Yes	D	2	Yes	P, T & X (rarely) ; M(N. Y. State Libraries only)
Columbia University College						
of Pharmacy.....	School closed 1976-1977					
The University of Connecticut.....	No	Yes	D	2	Yes	T or M (1953-1970 only)
Cornell University.....	No	Yes	D	2	Yes	T (Before 1954 only) M & X
—Medical College.....	No	Yes	D	—	—	
Creighton University.....	Yes	No	No	2	Yes	T & X
Dartmouth College.....	No	Yes	D	2	Yes	T
University of Detroit.....	No	Yes	D	1	Yes	M
Duke University.....	No	Yes	D	1	Yes	X
Emory University.....	No	Yes	D	2	Yes	P
Fairleigh Dickinson University						
(Madison, Rutherford and Teaneck-Hackensack locations).....	No	Yes	D	1	Yes	X(with author permission only)
The University of Florida.....	No	Yes	D	2	No	
The George Washington University....	No	Yes	D & S	2	Yes	T
Georgetown University.....	No	Yes	D	2	Yes	T
Georgetown University Medical Center.....	No	Yes	D	—	—	—
The Hahnemann Medical College						
and Hospital of Philadelphia.....	Yes	Yes	D	1	Yes	P(rarely)
Harvard University.....	No	Yes	D	2	Yes	T(M & X sold)

University of Hawaii.....	No	Yes	D	2	Yes	T
University of Health Sciences						
The Chicago Medical School.....	Yes	Yes	D	2	Yes	X
Haward University.....	No	Yes	D	1	Yes	T
University of Illinois at Chicago.						
Health Sciences Center.....	Yes	Yes	D	2	No	
Indiana University (Bloomington)						
—Business.....	No	Yes	D	2	Yes	T
—Graduate.....	No	Yes	D	2	Yes	T, M & X
—Health, Physical Education						
and Recreation.....	Yes	Yes	D & S	2	Yes	T, M, X & P
Indiana University—Purdue						
University at Indianapolis.....	No	Yes	D	1	Yes	T & X
The University of Iowa.....	No	Yes	D	1	No	
The Johns Hopkins University.....	No	Yes	D	2	Yes	T (Before 1958 only)
University of Kansas.....	No	Yes	D	2	Yes	T (Before 1959 only)
University of Kansas						
Medical Center.....	No	Yes	D	—	—	—
	See University of Kansas					
University of Kentucky.....	No	Yes	D	2	Yes	T, M & P
Loma Linda University.....	No	Yes	D	2	No	
Louisiana State University Medical						
Center at New Orleans.....	No	Yes	D	1	Yes	T
Louisiana State University						
Medical Center at Shreveport.....	No	Yes	D	1	Yes	T
University of Louisville.....	Yes	Yes	D	2	Yes	T, M & P
Loyola University of Chicago.....	No	Yes	D	2	Yes	T, M & X
Marquette University.....	No	Yes	D	1	Yes	T & M
University of Maryland.....	No	Yes	D	2	Yes	T
University of Maryland						
Baltimore County.....	No	Yes	D	1	No	
University of Massachusetts.....	No	Yes	D	1	Yes	T, M & P
Massachusetts College of Pharmacy						
Health Sciences.....	No	—	D	2	Yes	T (usually)
Mayo Graduate School of Medicine....	See University of		D			
	Minnesota to end of 1984					
Medical College of Georgia.....	Yes	No	S	2	No	

Medical College of Ohio at Toledo...	Yes	Yes	D	2	Yes	T
The Medical College of Pennsylvania.	No	Yes	D	1	Yes	T
Medical College of Virginia.....	See Virginia Commonwealth University Medical College of Virginia		D			
The Medical College of Wisconsin... Medical University of South Carolina.....	Yes	Yes	D	—	Yes	T & X
Univ. of Med. and Dent. of N. J.	No	Yes	D	2	Yes	T
Grad. Sch. of Biomedical Sciences	Yes	Yes	D	1	Yes	T, M & X
Meharry Medical College.....	QNR		D			
Miami University.....	No	Yes	D	2	Yes	T, X & P
The University of Michigan.....	No	Yes	D	1	Yes	M
—School of Public Health.....	No	Yes	D	1	Yes	X
Michigan State University.....	No	Yes	D	1	Yes	T, M & X
Milton S. Hershey Medical Center....	See The Pennsylvania State University		D			
University of Minnesota.....	No	Yes	D & S	2	Yes	T (Before 1952 only)
The University of Mississippi.....	No	Yes	D & S	1	No	
The University of Mississippi Medical Center, Jackson.....	No	Yes	D	1	No	
University of Missouri—Columbia...	No	Yes	D & S	1	No	
University of Missouri— Kansas City.....	No	Yes	D	2	Yes	M
The University of Nebraska—Lincoln	No	Yes	D	2	No	
The University of Nebraska at Omaha.....	No	Yes	D	See The University of Nebraska—Lincoln		
The University of Nebraska Medical Center.....	No	Yes	D	2	No	
University of Nevada, Reno.....	No	Yes	D	2	Yes	T, M & X
New Jersey Institute of Technology..	No	Yes	D & S	1	Yes	T & X
The University of New Mexico.....	No	Yes	D	2	Yes	T, M & X
New York University.....	No	Yes	D	2	No	(Limited)
New York Medical College.....	Yes	Yes	D	1	Yes	T & P
New York State College —of Veterinary Medicine*.....			D			

The University of North Carolina						
at Chapel Hill.....	No	Yes	D	1	Yes	M
The University of North Dakota.....	No	Yes	D	1	Yes	T
Northwestern University.....	No	Yes	D	1	No	
The Ohio State University.....	No	Yes	D	2	No	
The University of Oklahoma						
—Norman.....	No	Yes	D	3	Yes	M
—Health Sciences Center.....	No	Yes	D	1	Yes	T
University of Oregon.....	No	Yes	D	2	No	
Oregon Health Sciences						
University.....	No	No	No	2	Yes	T
University of the Pacific.....	No	Yes	D	2	Yes	T, X & P
University of Pennsylvania.....	No	Yes	D	2	Yes	T & M
The Pennsylvania State University...	No	Yes	D	1	Yes	X
Philadelphia College of Pharmacy						
and Science.....	No	Yes	D	1	Yes	M
University of Pittsburgh.....	No	Yes	D	2	Yes	T & M
University of Puerto Rico Medical						
Sciences (Puerto Rico).....	No	No	No	—	Yes	X
The University of Rochester.....	No	Yes	D	2	No	
Saint Louis University.....	No	Yes	D	2	Yes	X
University of South Carolina.....	Yes	Yes	D	2	Yes	T, X & P
University of South Dakota.....	No	Yes	D	2	Yes	T
University of South Florida.....	QNR		D			
University of Southern California...	No	Yes	D	1	Yes	T
Southern Illinois University at						
Carbondale.....	No	Yes	D	2	Yes	T & M
Southern Illinois University at						
Edwardsville.....	No	Yes	D	2	Yes	T
Stanford University.....	No	Yes	D	2	Yes	T(all but Education)
State University of New York						
—at Albany.....	No	Yes	D	1	Yes	M
—Health Science Center at Buffalo..	See State University		D			
—Health Science Center at						
Stony Brook.....	Yes	No	D	2	No	
—Downstate Medical Center.....	Yes	Yes	D	1	No	
—Upstate Medical Center.....	No	Yes	D	1	No	
Temple University.....	Yes	Yes	D	2	Yes	T & M

The University of Tennessee Center						
for the Health Sciences.....	—	Yes	D	1	Yes	X
The University of Texas						
—at Dallas.....	Yes	Yes	D	—	Yes	T, M & P
—Graduate School of Biomedical Sciences at Galveston.....	Yes	Yes	D	1	Yes	X
The University of Texas Health Sciences Center						
—at Dallas.....	No	Yes	D	1	No	
—at Houston Graduate School of Biomedical Sciences.....	Yes	Yes	D	2	Yes	P
—at Houston School of Public Health.....	No	Yes	D	1	Yes	M
—at San Antonio.....	No	Yes	D	2	Yes	T
The University of Texas System						
School of Nursing.....	Yes	Yes	D	—	Yes	T & P
Texas Tech University.....	No	Yes	D	2	Yes	T (Before 1960 only)
Tufts University.....	No	Yes	D	2	Yes	T
Tulane University.....	No	Yes	D	1	No	
—School of Public Health & Tropical Medicine.....	No	Yes	D	0	No	
The University of Utah.....	No	Yes	D & S	2	Yes	T, M or X
Vanderbilt University.....	No	Yes	D	2	Yes	T, M & X
University of Virginia						
—Engineering and Applied Science...	No	Yes	D	2	Yes	M & X
—Graduate.....	No	Yes	D	2	Yes	T
Virginia Commonwealth University....	No	No	D & S	2	Yes	T
Virginia Commonwealth University						
Medical College of Virginia.....	QNR		D			
Wake Forest University						
—The Bowman Gray School of Medicine.....	No	Yes	D	1	No	
University of Washington.....	No	Yes	D	2	Yes	T
Washington University.....	No	Yes	D & S	1	No	
Wayne State University.....	Yes	Yes	D	1	Yes	P
West Virginia University.....	No	Yes	D	1	No	
The University of Wisconsin						
—Madison.....	No	Yes	D	1	No	
—Milwaukee.....	No	Yes	D	—	Yes	T

Yale University.....	Yes	Yes	D	1	Yes	M & X
Yeshiva University.....	No	Yes	D	1	Yes	T.M & X

University of Illinois

at Chicago Health Sciences

Center. School of Public Health RNS *2 Yes D

- { *1) QNR=Questionnaire for not received
 *2) RNS=Request for information not sent to school

出典： American Doctoral Dissertations 1982-83

別表 2.

QUESTIONNAIRE

Please answer the following questions by ticking the appropriate boxes and/or filling out the blanks.

1. What is the title of the (doctoral) degree obtained in the faculty of dentistry in your Institute/University?

- ☐ Doctor of Philosophy ☐ Master of Science
☐ Doctor of Medicine ☐ Master of Science in Dentistry
☐ Doctor of Science
☐ other (please specify) _____

2. How many years of study and/or research do candidates for the degree(s) take to obtain the title? (please specify)

stage of degree | _____
 year of study | _____

An example: At Oxford and Cambridge, the Bachelor of Arts degree is the first degree in both arts and sciences. The second stage may lead to a "Master's" degree indicating the field of study.

Are there any preliminary stages leading to the candidate degrees mentioned above?

- ☐ yes
☒ no

If yes, please list them.

3. Location of complete dissertation texts within your degree-granting institution/university?

- ☐ department/school of dentistry
☐ library
☐ other (please specify) _____

4. What is the type of publication of dissertations of your degree-granting institution/university?

- ☐ never published
☐ journal articles
☐ books
☐ chapters or parts of books
☐ other (please specify) _____

5. In which reference sources is dissertation literature cited/
covered? (tick all relevant boxes)

- ☐ Comprehensive Dissertation Index
- ☐ Dissertation Abstracts International
- ☐ Chemical Abstracts
- ☐ National Library of Medicine Current Catalog
- ☐ other (please specify) _____

How would you best classify dissertation literature within
your library? (please specify)

An example: In National Library of Medicine, classified
'W4A'.

Your name: _____

Organization: _____

Address: _____

City: _____

Country: _____

THANK YOU VERY MUCH FOR HELPING US.

Please return this form - using the self-address envelope - to:

Kayoko Wada
Nippon Dental University Library
9-20, 1-chome, Fujimi,
Chiyoda-ku, Tokyo
JAPAN

別表3. 別表2の質問により得た Univ. of North Carolina
at Chapel Hill Health Sci. Lib.からの回答

Graduate Degrees in Dentistry

Oral Biology

Master of Science

2 academic years + 1 summer session

Candidates must have Bachelor of Science in dentally related field,
D.D.S., equivalent degree

Oral - Maxillofacial Surgery

4 years program

Thesis for Master of Science degree

Optional course study for M.D. or Ph.D.

Oral Radiology

Master of Science
24 months

Orthodontics

Master of Science (if thesis requirement is met)
2 years

Pedodontics

24 months
Certificate in Pedodontics (no thesis required)
Master of Science (if thesis requirement is met)
Ph.D. Program available

Periodontology

Certificate in Periodontics - 24months course
Certificate and Master of Science - 36 months course

Prosthodontics

24 months
Master of Science

Endodontics

Certificate in Endodontics - 2 years
Master of Science - 3 years

別表4, 5は次号に掲載

*

*

*